



昼休みの図書館

5月は体育大会、中間テストと続きましたが、図書館にもたくさんの人が来てくれました。友だちと勉強する姿や本と一緒に読む姿が見られてほっこり。みんなが居心地良く過ごせるよう、声は小さめで、本を探す人のじゃまにならないようにして、過ごしてください



本を読んで
過ごす1年生と
勉強する
3年生!

雨の日は図書館へ！明日晴れるといいな～

雨の日限定、本を借りてくれた人に「明日晴れるといいな～しおり」をプレゼントします。

初めてのしおりプレゼント企画です。雨の日は図書館へ！

◆対象：雨が降っているときの昼休み、本を借りた人

◆期間：しおりが無くなるまで、もしくは梅雨が明けるまで

※何度借りても1人1枚です



大津中図書館の歴史 番外編:司書の思い出

昔の大津中図書館の写真の紹介はまだ続きますが、ここでちょっと一息。司書・宮野は、大津中に勤務するのは2回目。最初に勤務した十数年前の思い出です。

部活がなく生徒が校内にいない静かな放課後、図書館から廊下に出ようと足を一步踏み出した瞬間、足元に何かロープのようなものがあることが分かりました。気付いたときには既に遅く、踏んでしまったそれは、なんと1メートルくらいのヘビでした…。

驚きすぎて声も出ず、とっさに「巻かれる!」と思って走って職員室へ走って逃げました。先生方と捕獲しようとしたのですが、大きすぎて捕まらず、ヘビは給食センターへの渡り廊下から草むらの方へ逃げて行きました…。

ヘビが図書館に来たのはその1回だけ。忘れられない思い出です!

踏んでごめんね!



雨の日

は冒険に出よう！



梅雨入りし、雨が降らなくてもどんよりした日が続いています。雨が長くとなかなか外で遊ばず、退屈だなど思っている人、いませんか？本の世界で冒険に出てみましょう！図書館には、冒険物語や雨にまつわる本を集めています。



『はてしない物語（上・下）』ミヒャエル・エンデ、岩波書店



バスチアンは本を読んでいた。「虚無」におかされたファンタージェン国を救うには、人間界の子どもを連れてくるしかない。その子は本を読んでいる10歳の少年…

「ぼくのことだ！」叫んだとたん、バスチアンは本の中に吸い込まれ、この国の滅亡と再生を体験する。映画化もされた名作ファンタジー。

『七夜物語（上・下）』川上弘美



朝日新聞出版
小学4年生のさよは母親と二人暮らし。ある日、町の図書館で出会った『七夜物語』という不思議な本に導かれ、同級生の灰田さんと夜の世界へ迷い込む…。

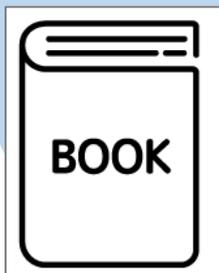
『コンチキ号漂流記』



トル・ハイエルダール、偕成社

1947年、ノルウェーの学者である著者が、ペルーから南太平洋の島まで、いかに航海した記録。巨大なクジラに遭遇したり、嵐に遭ったり…ドキドキハラハラの連続！

「クロニクル千古の闇」シリーズ、



ミシェル・ペイヴァー、評論社

紀元前4000年の森。巨大なクマの姿の悪霊に父を殺された少年トラク。父との誓いを果たすため、子オオカミのウルフとともに「精霊の山」を探す旅に出る。

『裏庭』梨木香歩、理論社



高い塀で囲まれた荒れ放題の洋館は、近所の子どもたちの遊び場だった。ある日、照美は洋館の秘密の裏庭に入り込み、声を聞いた。「教えよう、君に」と。少女の孤独な魂は、冒険の旅に出る。